

発議第 2 号

現行の健康保険証の存続を求める意見書

上記の意見書を別紙のとおり提出します。

令和5年9月13日

提 出 者

八雲町議会議員 横 田 喜世志

賛 成 者

八雲町議会議員 佐 藤 智 子

八雲町議会議長 千 葉 隆 様

現行の健康保険証の存続を求める意見書

政府は国民の利便性向上等との観点から、来年秋に現行の健康保険証を廃止して、マイナンバーカードと健康保険証を一体化するとしている。政府のマイナンバー情報総点検本部が8月8日に公表した中間報告では、マイナンバーカードと一体化した保険証に、誤って他人の個人情報登録されていたケースが新たに1,069件判明し、それまでに公表されていた件数と合わせると8,441件、医療費や薬など診療情報が他人に閲覧されたケースが新たに5件で15件となった。マイナンバーカードと一体化した保険証に他人の医療情報が紐づけされていることは命に関わる重大問題である。その他にも、マイナンバー保険証のトラブルで本人認証がされずに窓口で10割負担を求められた事例なども報告されている。

医師や歯科医師で構成されている全国保険医団体連合会は政府の中間報告に対し、「個人情報紐づけ1,069件は氷山の一角。全件チェック・全容解明まで運用停止を求めます。」との声明を発表し、「これ以上の情報流出、プライバシー侵害を防ぐために直ちにマイナ保険証を利用するシステムの運用を停止すべき。」との指摘もしている。

政府は、マイナ保険証を取得していない方に発行する「資格確認書」について1年としていた有効期限の上限を5年以内に延長することや、申請を待たずに保険者が交付することなどの対応策を示した。そうであるなら、現行の保険証を存続する方が効率的である。

現行の保険証が廃止されれば、任意であるはずのマイナンバーカードの取得が、事実上義務化され、マイナンバーカードを持たない人は保険診療が受けられない恐れもある。

以上のことから、国に対して、現行の健康保険証を存続させることを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年9月13日

北海道二海郡八雲町議会議長 千葉 隆

【提出先】

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
厚生労働大臣
デジタル大臣